

**広がる難民支援の輪「難民の故郷の味」を学食に**  
 —Meal for Refugees 3年目に突入 今期は過去最多6大学が参加—

難民支援協会(JAR)が2013年2月に出版したレシピ本「海を渡った故郷の味 Flavours Without Borders」から生まれた社会貢献プロジェクト“Meal for Refugees(M4R)”が3年目に突入しています。M4Rは、日本に逃れてきた難民の家庭料理を学食メニューとして導入し、食べることを通じて難民を知り、1食20円を寄付として難民を支える取り組みです。今年は6月20日の世界難民の日に向けて、過去最多の6大学の学生が参加しています。各大学の学生による取り組みについてご取材をお願いします。



今年は、関西・関東でそれぞれイベントを合わせて開催します。関西では、難民支援の学生団体3団体が合同で「なんみん SHOW~6.20~」にて、M4Rメニューの試食や難民をテーマにしたワークショップを行います。関東では、M4R立ち上げに関わった学生代表テュアンシャンカイさんが、自身の経験やM4Rに込めた



思いを話す講演会を開催します。JARは、全国の学生が自由に難民支援に関われる場としてM4Rを育てていき、全国の大学での更なる導入に向け、学生とともに取り組んでいきます。

- ▼参加大学（2015年春学期）※寄付金の有無や金額、メニューの金額については大学により異なります。
- |           |  |
|-----------|--|
| 東洋英和女学院大学 | 5/10-15  |
| 関西学院大学    | 5/11-15、6/15-19・西宮上ヶ原キャンパス（神戸三田キャンパス）          |
| 明治大学      | 6/1-3・生田キャンパス   6/15-19、6/22-26・和泉・駿河台・中野キャンパス |
| 国際基督教大学   | 6/1-19（月・水・金）                                  |
| 立命館大学     | 6/8-12   |
| 聖心女子大学    | 6/22-27  |

▼イベント詳細

[関西] ナンミン SHOW~6.20~

日時 | 6/20(土) 12:00-17:00 (開場 11:30)  
 会場 | 立命館大学諒友館 B1 ロッソ  
 内容 | M4Rメニュー試食/難民出身国の民族衣装試着/ワークショップ/映像上映  
 主催 | J-FUN ユース K. G. /M4R/PASTEL  
 お申込み⇒ [http://www.kokuchpro.com/event/refugees\\_620/](http://www.kokuchpro.com/event/refugees_620/)

[関東] 講演会—難民イントロダクション

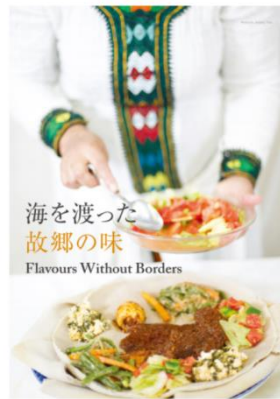
日時 | 6/24(水) 18:15-19:45 (開場 17:50)  
 会場 | 明治大学和泉図書館ホール  
 内容 | M4R代表テュアンシャンカイが自身の経験とM4Rの立ち上げから現在に至るまでをお話します。  
 主催 | 明治大学 M4R  
 お申込み⇒ [babolartennis@gmail.com](mailto:babolartennis@gmail.com) (申込み人数、氏名を記載/一般の方でもご参加できます。)

■本件に関するお問い合わせ

認定NPO法人難民支援協会 広報部 田中  
 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-7-10 第三鹿倉ビル6階 Tel:03-5379-6001 | Fax:03-5379-6002 | [info@refugee.or.jp](mailto:info@refugee.or.jp)

(参考資料)

レシピ本「海を渡った故郷の味」について



日本に逃れてきた難民のことをより多くの人に知ってもらうことを目的として作られたレシピ本「海を渡った故郷の味」は、ミャンマー(ビルマ)、クルド、イラン、エチオピアなど世界 15 の国・地域から 45 の家庭レシピが掲載された、日・英併記のレシピ本です。

本書は、難民支援協会が支援を行っている難民からレシピを教えてもらい、ともに料理を作りながら制作しました。家庭料理の味や匂いの記憶は、生まれ育った土地の記憶を呼び起こすものです。迫害という過酷な経験を持つ難民にとって、料理を通じて思い出す故郷は、必ずしも幸せな風景ばかりではありません。それでも、家庭料理を共に囲んだ大切な人たちとの思い出も、その記憶にはつまっています。



各レシピに掲載しているコラムには、食文化の豆知識、作り方のコツに加え、作り手である難民の料理をめぐる個人的ストーリーも紹介されています。また、料理の中には、母国の家族が送ってくれるスパイスを使い、故郷の味を再現するようなレシピもあれば、長年の日本での生活を経て変化していったレシピもあります。

2013 年の発売からすでに 7,000 部を発行。多くの読者からたくさんの声が届いています。

「“難民”を遠い存在に感じていましたが、本を読み、実は身近な存在であることに気づかされました。」

「各レシピにあるコラムも興味深く、難民の方の故郷に対する愛情が伝わってきます。」

「胸がいっぱいで、うまく書き表せません…。この本との出会いに感謝します。」

「日本にある食材で工夫して作れるよう再現してくださっているので、本当に簡単に美味しく作れました。」

▼レシピ本「海を渡った故郷の味 -Flavours Without Borders -」について

[発売日] 2013年2月15日

[定 価] 1,500円(税別)

[出版社] 株式会社ジュリアン

⇒購入はこちらから [www.flavours-without-borders.jp](http://www.flavours-without-borders.jp) ※立ち読みもできます。

**難民支援協会とは [www.refugee.or.jp](http://www.refugee.or.jp)**

日本に逃れてきた難民が、自立した生活を安心して送れるよう支援している認定NPO法人。難民申請の手続きや、日本での医食住、教育、就労などに関する支援を行うと同時に、難民受け入れに関する政策提言や、イベント「Refugee Talk」(月1回)、「難民アシスタント養成講座」(年3回)などの開催を通じた認知啓発も実施。年間の支援対象者の国籍数は約50か国、来訪/外部相談件数は2,500件以上。

国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)の事業実施契約パートナー。